

令和5年11月30日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



# 東希小だより 12月号

## 「咲こう 輝こう マーガレットのように」

### 一人ひとりが成長を感じる教育活動をめざして

校長 井島 恵子

先週、5・6組の子どもたちが学年花壇で育てたサツマイモを収穫したと見せに来てくれました。とても大きなサツマイモがたくさんあって、どのように調理するのか計画を立てるのを楽しみにしていると嬉しそうに話していました。そのような活動からも、季節が進んでいることを感じます。

18日の「歌のつどい発表会」ではたくさんの保護者の方に参観していただき、ありがとうございました。また事前の練習公開日にも多くの保護者の方にご参観いただきました。両日とも保護者の皆様がお互いに気持ちよく参観できるようご協力いただきましたこと、改めて感謝申し上げます。公開練習から18日の保護者向け発表会まで4、5日あったので、その間の子どもたちの成長を感じられた方も多かったのではないのでしょうか。

今年の「歌のつどい」スタート集会は10月5日に行われ、歌のつどい実行委員会の児童が全員で、スローガン「助け合い みんなで楽しもう にじ色ハーモニー」を発表しました。その後の校長講話の中で、私は次の2つのことを期待していると伝えました。1つ目はクラスや学年の友達と演奏を作り上げることの素晴らしさを感じてもらいたいということ。2つ目は自分から取り組んでもらいたいということです。

取組の過程を  
目で確認できます



夏休み中から校内の職員で「歌のつどい」の指導のねらいについて話し合い、今年は発表に至るまでの練習の過程や、成長の様子をていねいに見取り支援していこうと、全職員が同じ方向を向いて指導、支援を重ねてまいりました。ある教室では、毎週の目標を決めて練習に取り組んだり、発表に向けた達成度合いをグラフにして掲示したり、振り返りの言葉をカードにして木が茂っていく様子に見立てたクラスもありました。歌ったり楽器を演奏したりすることが得意な児童も、そうでない児童も、発表において一生懸命がんばっている様子が学校中のどこにいても感じられる日々が続きました。

保護者の皆様に参加していただいた前日の17日には児童の発表会があり、1年生から6年生まで全学年が体育館に集まって、お互いの演奏を鑑賞し合いました。移動・休憩時間をはさみ、前後半合わせておよそ3時間の演奏会を集中して聞いている児童の姿には感動さえ覚えるほどでした。特に6年生は圧巻の演奏で、聴いていた他学年の児童は、あのような6年生になりたいと数年後の自分の姿を想像しているようでした。

ご家庭でもお子さんへ励ましの言葉をかけていただいたり、発表を見た感想を伝えていただいたりするなど、温かなご支援をありがとうございました。これからもご家庭と学校が両輪となって心穏やかな児童の育成に努めてまいりたいと考えます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

アンケートへのご回答ありがとうございました。結果は後日改めてお知らせいたします。